

# そよ風



- 1～3 療育活動
- 4 学会報告・行事案内
- 5 嚥下補助食の試食経験
- 6 全国施設協議会について
- 7 研修計画
- 8 人事異動

## 療育活動

院外療育活動

第 1 病棟保育士 豊川 尚平

月島に  
もんじゃ  
焼きを  
食べに  
行きました。  
美味しかったです。



## 院外療育活動

第 2 病棟指導員 田畑 和久



去る 5 月 16 日 (木)、第 2 病棟の利用者さん 3 名は、院外療育活動で「高尾の森 わくわくビレッジ」へお出かけしました。5 月の爽やかな風が気持ちよく、お出かけにはもってこいの五月晴れ。みんな日頃の行いが良いのね、きっと！

到着してまもなく今日のメインイベント、粘土キャンドルに挑戦です。インストラクターさんの説明を受けた後、すぐとりかかりました。思っていたより細かい作業で、意外とみんな四苦八苦…。ちょっと甘く見てた…。ややハードルは高めですが、利用者さんも親御さんも職員も必死の頑張りで、なんとか完成！！みよ！このクオリティー！！完成品を見て、なぜだかみんなでゲラゲラ大笑い。まっ、いっか。

創作活動の後は外に出て、5 月の新緑の中を散策しました。きれいな空気を深呼吸すると、自然の中にいることを実感します。その後はレストランで昼食を摂り、のんびりと休憩。みんなで記念撮影をして…。自然と創作を楽しめた 1 日になりました。



## 制作活動をのぞいてみたら

第 3 病棟指導員 関根 努

ある 5 月の昼下がり。♪あ～あなたのお名前は～とデイルームから聞こえてくる皆さんの歌声。さあ、今から療育活動が始まります。今日の活動内容は制作。テーマは『6 月の壁面工作』です。“アジサイ” “かたつむり” “え～っと、雨” 等 6 月をイメージするものの数々。

いろいろなアイデアが出たのでいっそのこと全部取り入れてしまおうという事になり、早速制作開始！まずはアジサイ。赤、ピンク、青、むらさきと色とりどりのフラワーペーパーを使って作りました。次にかたつむり。背中に背負っている殻の部分に絵の具やスタンプを使って模様を描きました。

こうして完成した 6 月の壁面は写真のとおりです。御家族の皆さんからも好評で、デイルームを明るく演出してくれています。作品が完成する喜びもありますが、制作作業を通して利用者さんと関わりながら同じ時間を過ごす事の良さを改めて感じたひとときでした。



## 動物園に行きました！

第 4 病棟看護師 上村 千春

5 月 24 日（金）、晴天の気持ち良い遠足日和。利用者さん 3 名と御家族と一緒に、羽村動物園に行きました。

行きのバス車中では「動物園クイズ」を開催。「羽村動物園のキリンにある模様は？」といったクイズに、「実際に見てみましょう」という答え。みんなが期待する中、羽村動物園に到着。赤や緑のインコ、いろいろなサル、ヤギやブタなどを見ながらすすむと、お目当てのキリンを発見！1 頭のキリンには、ハート型の模様がありました。確認できて、みんな大満足。また、人が入れるようになっている檻があり、ちょっとドキドキ。中に入って記念撮影もしました。ペンギンやシマウマなど、たくさんの動物に会いましたが、一番人気だった動物は、動きがとてもかわいいアルマジロでした。

昼食は、大きないけすがある料理屋さんでした。カウンターにみんなで並び、ゆっくり和食をいただいでお腹も満足。帰りのバスでも話がはずみ、とても充実した 1 日になりました。



## 生け花教室

リハビリテーション科作業療法士 内野 強

5 月 17 日（金）、毎年恒例の生け花教室が開催されました。今年の参加メンバーはリハビリテーション科グループ訓練の「レディース」、「ボーイズ」、「歩歩歩（ほほほ）」の 17 名の皆さんです。この日は慈恵医大の学生さん 3 名、言語聴覚士の実習生もお手伝いに来てくれました。

参加者はプレイルームに集まり、それぞれが気に入った花と花器を選び、教室のスタートです。はさみで茎を切る方、剣山にさし込む方、スタッフや学生さんのお手伝いで形作る方、参加の仕方は様々ですが、お話をしながら楽しく作業を進めていきました。ご覧になった方もいるかと思いますが、完成した作品はエントランスホールに展示しました。皆さん中々の力作でしたよ。作品のタイトルにもご注目を！

短い期間の作品展でしたが、お花を飾ることでホールの雰囲気がとても華やかに、そして和やかになりました。来年の生け花教室も、どうぞお楽しみに！



## 第 55 回日本小児神経学会学術集会に参加して

医長 西條 晴美

5月29日(水)から6月1日(土)まで大分市で開催された第55回日本小児神経学会学術集会に参加しました。4日間のプログラムは最新のトピックスから小児神経科医なら誰もが診療で悩むテーマまで多岐にわたる講演やシンポジウムが目白押しです。また全国から数多くの演題発表があり、気になったテーマを聞き逃さないように会場を移動しつつ充実した時間を過ごしました。

その中で私が選んだテーマはDNA修復障害と神経変性というシンポジウムでした。患者さんとご家族に開かれた会でもあり、最新の研究報告、患者さんを正確に診断する方法、治療の可能性について報告されました。今まで出会った患者さん、そしてこれから出会う患者さんのことを考えながら聞きました。また以前より詳しく知りたいと思っていた「心-奇形連鎖：Noonan症候群類縁疾患におけるRAS-MAPKシグナル伝達経路の関与」という教育講演では、一つの研究テーマが優れた臨床家や研究者との出会いの中で、大きな真実の発見につながった過程が語られ、非常に感銘を受けました。研究の過程にあっては、真実の全貌がわかっているわけではないけれども、一つ一つの事実を根気よく積み上げて初めて見えてくることがあるということ、講演者の柔らかく率直な語りから感じ取ることができました。

今回の学会のテーマは「虚心石を友とす 至誠通神」でした。心に何のわだかまりも持たずに、ただひたすらに一つ心に決めて向き合うことの大切さを示す言葉です。日々の臨床の仕事に、また臨床を深めるための学びに真摯に向き合っていきたい、来年は私も自分のテーマをもって演題発表をしようと心に決めて帰ってまいりました。

### 行事のご案内

生活支援科長 森 謙二

平成25年度の主要行事は、第72号でご案内の通りになりますが、8月には『夏祭り』、10月には『東大和療育センターフェスティバル』と療育センターで1、2を争う大きな行事が続きます。利用者の皆様に季節感を味わい、楽しんで頂けるよう、只今準備を進めているところです。

さて、行事の魅力の1つに、沢山の人が出て賑やかであることがあります。盛大な行事にするためには、多数の皆様のご参加が重要なポイントになります。ご家族の皆様・地域の皆様のご来場お待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### 第21回夏祭り

日時 平成25年8月2日(金) 16:30～19:30  
場所 東大和療育センター  
内容 模擬店、ステージ、ゲーム、打ち上げ花火等



#### 第4回東大和療育センターフェスティバル(略称:東大和フェスタ)

日時 平成25年10月12日(土) 10:00～15:00  
場所 東大和療育センター  
内容 ふれあい動物園・熱気球係留体験・制作展等



☆当日、お手伝いして下さるボランティアさんを募集しています。

詳細はホームページ(<http://www.hmc-smid.jp/>)をご覧ください。

## 嚥下補助食の試食経験

副院長 鈴木 文晴

当センターには、東京慈恵会医科大学の学生さんが毎年施設実習にきます。4 人一組で 5 日間、二組合計 8 人で 10 日間です。今回、嚥下補助食の試食経験をしてもらいましたので、感想などをご紹介します。



左が普通食、右が各種の嚥下補助の調理形態です。

当日は 4 人の学生さんに、まず普通食を食べて頂きました。おいしいと好評でした。次に主食として、軟飯、全がゆ、そしてスベラカーゼ添加のおかゆの 3 種を試食しました。通常のおかゆは口腔粘膜に貼り付きがありますが、スベラカーゼ添加のおかゆはつるりプリプリとして貼り付きがなく、食べやすいことを勉強してもらいました。

そして副菜ですが、全部のお料理を、キザミ、ツブシ、マッシュ、増粘剤入りなど、各段階試食しました。ツブシやマッシュは外見が良くないのですが、食べてみると味を損なうことも少なく、食べやすいことを経験してもらいました。食材によって、加工しても食味が変わらない場合もあるし、あるいは食味が低下する場合もあることを勉強してもらいました。

岩内総太郎君の感想文を紹介します。

咀嚼嚥下を何不自由なくできることが、いかに恵まれたことかがわかりました。普段の食事は何も考えずに食べていましたが、それができないということがどれだけ大変であるかわかりました。また工夫を凝らしておいしい嚥下補助食が作られていることを知り、食事の重要性を実感しました。

最後に、お忙しい中をご協力頂いた栄養科の皆様に感謝申し上げます。本当に有難うございました。



## ■平成 25 年度日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会について■

事務長 吉野 雅文

上記協議会が、5 月 9 日（木）、10 日（金）の両日、東京新宿の京王プラザホテルで開催されました。今回の協議会は東京での開催ということもあり、都内 9 施設が連携協力し準備を進めることになりました。現在、協議会が無事に終了し、関係者の一人としてホッと胸を撫で下ろしているところです。

東京都には、後援名義の使用から安藤副知事の来賓挨拶に至るまで多大なご支援を賜り感謝申し上げます。また、当センター職員の皆さんには、事前の準備、当日の会場案内などを担当いただきありがとうございました。

9 日（木）午前は行政説明として厚生労働省の阿萬障害児・発達障害者支援室長から、障害福祉施策の歴史をはじめ、障害者総合支援法の障害者範囲の見直し等改定内容、障害者虐待防止法の概要などを分かりやすくご説明いただきました。

午後の基調講演では、都立東部療育センター有馬院長から「重症心身障害児医療の歴史的観点」と題してお話がありました。子供の障害とその対策に影響した時代背景を分析され、我が国が独自の重症心身障害児者施策を推進できたのは、子供と家庭の人権を守るという日本人の使命感に裏打ちされたものであるとの論を展開され印象深く拝聴いたしました。

続いて「重症心身障害児者施設のこれから」というテーマでシンポジウムが行われ、7 人のシンポジストから課題が提起されましたが、今回は心に残った 2 件をご紹介します。

東京の川又東部訪問看護事業部長からは、在宅の N I C U 退院児支援に関する報告があり、当該児は障害が重く、多くの医療ケアを要する方が大半で介護者は疲労困憊の中で常に症状の急変に強い不安を抱えておられるという現状が説明されました。それでもなおかつ介護者の在宅志向は強く、症状悪化に対応できる 24 時間体制支援の強化やいつでも利用可能な短期入所の整備が喫緊の課題となっていることが報告されました。

また、保護者を代表して東京都重症心身障害児（者）を守る会の岩城会長からは、重症児者を取り巻く施設、在宅の現状を踏まえて、地域バランスを考慮した入所・通所施設の充実、緊急時に利用できる短期入所、訪問看護師・ヘルパーの活用など保護者としての切実な意見、要望が出され、我々施設運営側にとっても考えさせられるところが多々ある報告でした。

最後に、今回の協議会は参加者にとって実りのあるものであったこと、私にとっても準備に係わった思い出深い会議であったことをお伝えし、協議会の報告といたします。

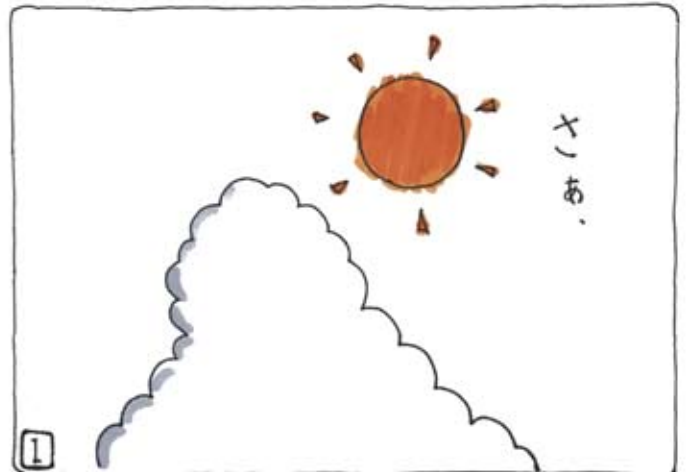
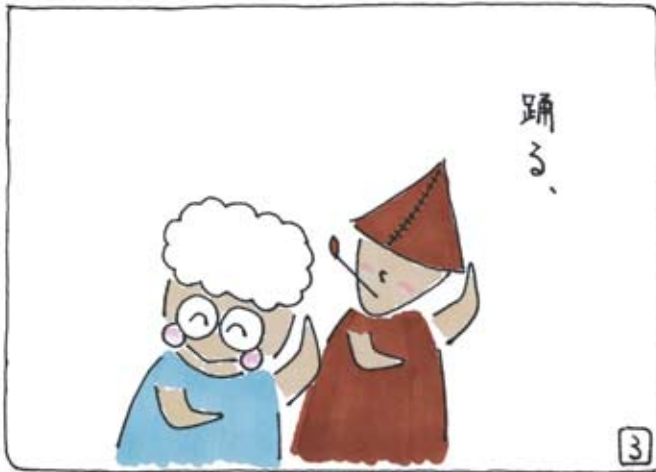
## 平成 25 年度 看護部院内研修について

看護部では、平成 25 年度の院内研修の見直しをいたしました。センターに入所されている長期利用者の方は、毎年、年齢を重ね医療的ケアが少しずつ複雑になっております。また、短期入所の方や医療入院の方も、低年齢化となり高度の医療が必要の方が多くなっています。

そのような状況の中で、安全で安心できる環境を整備し、質の高い看護療育の提供ができるように院内教育を企画しました。特に、看護師・保育士・指導員がそれぞれの専門性を活かして実践ができるようにと考えました。

### 平成 25 年度院内研修計画一覧

研修名	研修目的	対象	
基礎コース 新任オリエンテーション 基礎コースⅠ	①看護部職員として必要な知識・技術を学び、病棟での業務に活かす。	1 年次 悉皆	
	②看護（療育）の基礎技術、知識、態度を習得するとともに、重症心身障害児者の特徴を理解し、安全な看護（療育）を提供する。		
	③担当職員として助言を受けながら看護（療育）計画に沿って実践する。		
基礎コースⅡ	①担当職員として助言を受けながら利用者の看護（療育）の展開に責任を持つ。 ②根拠に基づいた看護（療育）を実践する。	2 年次 悉皆	
基礎コースⅢ	①担当職員として自立し責任ある行動がとれる。 ②根拠に基づいた知識技術とともに、個別的看護（療育）の実践ができる。	3 年次 悉皆	
一般コース プリセプター	プリセプターの役割を理解し、後輩指導に活かす。	職歴 3 年目以降	
	在宅支援		職歴 4 年目以降
	リーダー研修		
	看護診断		
	療育研究		
専門コースⅠ 摂食嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護の指導的役割を果たす。	基礎コース修了者 (看護師)	
呼吸管理	呼吸管理の指導的役割を果たす。		
専門コースⅡ 療育活動	利用者の QOL 向上のための療育活動の充実に活かす。	基礎コース修了者 (保育士・指導員)	
管理コース 昇任時主任研修	係長を補佐する者として、主任の自覚がもてる。	今年度昇任の主任	
	係長研修	管理について学び、職員指導に活かす。	係長



そよ風第 73 号

編集 院内報そよ風編集委員会  
 発行日 平成 25 年 7 月 15 日  
 発行 東京都立東大和療育センター  
 東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10  
 ☎ 042-567-0222  
 印刷 有限会社 はじめ印刷  
 ☎ 042-560-3031

編集後記

早々に梅雨入りし、各セッション夏に向けてグリーンカーテンの準備が着々と進んでいますね。今から夏の完成が楽しみです。(K.H)

いよいよ暑い夏がやってきます。この夏が終わる頃、2020 年夏季オリンピック東京招致の結果が発表されます。暑さは辛いですが、2020 年は東京中そして日本中が熱い夏になるよう応援していきましょう。(K.I)